



# 正欲

*(ab)normal desire*

観る前の自分には戻れない

稲垣吾郎 新垣結衣 磯村勇斗 佐藤寛太 東野絢香

山田真歩 宇野祥平 渡辺大知 徳永えり 岩瀬亮 坂東希 山本浩司

監督・編集:岸善幸 原作:朝井リョウ『正欲』(新潮文庫刊) 脚本:港岳彦 音楽:岩代太郎 主題歌:Vaundy『呼吸のように』(SDR)

製作:murmur エグゼクティブプロデューサー:石井紹良 神山健一 定井勇二 飯島三智 企画・プロデュース:中村優子 プロデューサー:杉田浩光 富田明子  
スーパーバイザー:松原宏林 共同プロデューサー:船江修 ラインプロデューサー:塚村悦郎 撮影:夏海光造 照明:高坂俊秀 DIT:鈴木裕 録音:森英司 音響効果:大塚智子  
キャスティング:おおざさこ 美術:井上心平 衣装:宮本まさ江 ヘアメイク:新井はるか 金田順子 装飾:中村三五 助監督:松尾崇

制作プロダクション:テレビマンユニオン 配給:ビターズ・エンド ©2021朝井リョウ/新潮社 ©2023「正欲」製作委員会

2023/日本/カラー/DCP/5.1ch/ウスタ/134分

# 価値観を揺るがす、今年一番の衝撃作

検事の寺井啓喜は、息子が不登校になり、教育方針を巡って妻と度々衝突している。ショッピングモールで寝具販売員として働く桐生夏月は、実家暮らしで代わり映えのしない日々を繰り返している。ある日、中学のときに転校していった佐々木佳道が地元に戻ってきたことを夏月は知る。ダンスサークルに所属し、準ミスターに選ばれるほどの容姿を持つ諸橋大也。学園祭でダイバーシティをテーマにしたイベントで、大也が所属するダンスサークルの出演を計画した神戸八重子はそんな大也を気にしていた。家庭環境、性的指向、容姿——様々

に異なる背景を持つこの5人。彼らの関係は少しずつ交差していく。まったく共感できないかもしれない。驚愕を持って受け止めるかもしれない。自身の姿を重ね合わせるかもしれない。それでも、誰かとつながり合うことを希求する彼らのストーリーは、生き延びるために大切なものを、強い衝撃や深い感動とともに提示する。いま、この時代にこそ必要とされる、心を激しく揺り動かす、痛烈な衝撃作が生まれた。もう、観る前の自分には戻れない。



## 稲垣吾郎 & 新垣結衣 ふたりの新境地!

### 原作:朝井リョウ×監督:岸善幸×主題歌:Vaundyが生み出す化学反応

啓喜を演じるのは稲垣吾郎。市井の視点で啓喜を演じ、観客を映画世界へ誘う。新垣結衣が、夏月の複雑な心のひだを繊細に演じ、今までに見たことのない表情を魅せる。夏月と感情を共有していく佳道を演じるのは、磯村勇斗。ダンスシーンでも大也の感情を流露させるのは佐藤寛太。誰もが持つ心の弱さと強さを、映画初出演の東野絢香が八重子役で体現する。

原作は朝井リョウによる長編小説『正欲』。第34回柴田錬三郎賞を受賞、多くの読者の支持を得て、発売部数はすでに38万部(2023年7月現在)を突破、「これまでの価値観を覆す読書体験」として大いなるうねりを生み出している。

監督は、『あゝ、荒野』『前科者』では希望と再生の物語を感動的に描いた岸善幸。登場人物それぞれに寄り添うように、ラストシーンまでを丹念に描き出した。脚本は、『あゝ、荒野』でも岸とタッグを組んだ、港岳彦が務め、壮大な原作世界を映像に置き換える挑戦を成功させた。音楽は『レッドクリフ』シリーズ、『殺人の追憶』の岩代太郎。主題歌「呼吸のように」を手掛けたのはVaundy。本作で初めての映画主題歌を担当した。映画世界を端的に凝縮した、かけがえない人とのつながりを歌うその楽曲は、深い余韻を本作の最後に響かせる。



# 傑作か、問題作か、

# 正欲

稲垣吾郎 新垣結衣 磯村勇斗 佐藤寛太 東野絢香  
監督・編集:岸善幸 原作:朝井リョウ【正欲】(新潮文庫刊) 脚本:港岳彦  
音楽:岩代太郎 主題歌:Vaundy「呼吸のように」(SDR)  
撮影:夏海光造 照明:高坂俊秀 製作:murmur 制作プロダクション:テレビマンユニオン 配給:ビターズ・エンド  
©2021朝井リョウ/新潮社 ©2023「正欲」製作委員会 2023/日本/カラー/DCP/5.1ch/5.1ch/134分 15  
bitters.co.jp/seiyoku X(Twitter)+Instagram@seiyoku\_movie

## 11.10 Fri ROADSHOW



ビターズ 発売中! ¥1,600(税込)・・・ご購入の方には特製クリアしおりをプレゼント!(限定数)